

どんな検知器なら OK ? NG ? 記録は? メンテは?

【東海電子製品 販売代理店様限定開催!】

白ナンバー (社用車) アルコールチェック義務化対策セミナー

飲酒運転防止に関する道路交通法施行規則 9 条改正
3 つの義務の解説と、包括的な対策について

安全運転管理者は、

- I アルコール検知器を用いて酒気帯び確認をしなければならない
- II アルコールチェック実施の記録を1年間保存しなければならない
- III アルコール検知器の設備管理をしなければならない



白ナンバーアルコールチェック

義務化の背景と対策

道路交通法改正「3つの義務」。これ以外にも、マイカー通勤者対策等、労働安全衛生法観点も加えて「ポーズだけではない体制」「形骸化しない体制」についてご説明します。

- ・千葉県飲酒運転事故と、日本の飲酒運転者年間2万人の関係
 - ・緑ナンバートラックで飲酒運転が減らない理由
 - ・白ナンバー職業別飲酒運転者から浮かび上がること
 - ・使用者と安全運転管理者が絶対に理解しなければならない3つの義務化7つのポイント
 - ・アルコール検知器 製品販売のポイントとは
 - ・500円のアルコールチェッカーと15万円のアルコール測定器の違い
 - ・ご注意ください。ハンディタイプのアルコール検知器の落とし穴
 - ・アルコール検知器 導入ハンドブック
- ～ 何のための、アルコールチェックか?～

■プレゼンタープロフィール
飲酒運転防止インストラクター 運行管理者(貨物)
松本 剛洋



12/24

(金)

13:30

~

14:30

【開催方法】

ZOOMによるオンライン形式
(30分前よりご参加頂けるよう調整致します)

【申込み方法】

下記URL、ORコードより登録をお願い致します。

https://zoom.us/webinar/register/WN_a0etlswGSdGH46cX9nnyBw

※お申込みは東海電子製品販売代理店様限定となります。

